

◎2学期が始まりました

園や学校での読み聞かせが始まりました。0～2歳さんも楽しそうにお話を聞いてくれました。先日、小学校に朝読に行きますと、2年生の男の子が走ってきて「今日ぼくの教室にも来てくれるの？」と嬉しそうに聞いてくれました。楽しみにしてくれていることがとても嬉しいです。



また、1年生の教室に読み聞かせに行った時のこと。既に準備して前に集まって座っていてくれました。場が整っていたので、落ち着いた空気の中、スムーズに読み聞かせの世界に入っていく子どもたち。先生のご指導の賜物ですね。途中、「静かに聴いて！」と、小声で注意し合う子どもたちの姿に正直驚き、感心しました。穏やかに聴き入る子どもたちの姿は、いつも厳かだなと思います。

◎みんなの読書感想画を、ありがとうございました！

今年も、夏休みに読んだ本を、絵で表現してもらいました。細かいところまで描かれたもの、彩り豊かなものなど、時間をかけて想いを込めて描いてくれたことが伝わってきます。学校以外でも情報館で描かれたものなど、多くの作品が集まりました。情報館のスロープの壁に学校ごとに掲示していますので、多くの方に見に来ていただけたらと思います。11月22日（日）まで掲示する予定です。



◎すこやかランド 9/9



情報館で1歳までのお子さんと親御さんに向けて、1年に1度「絵本の必要性について」のお話と、絵本の紹介、読み聞かせをさせていただいています。少子化が急速に進んでいることを実感させられる中、今年は3組のお子さまとお母さまが参加されました。

まずは目の前のお子さんをしっかり見ることで、そして子どもの成長を理解することの大切さを、お伝えしています。

3歳までの子どもの脳の成長は目覚ましく、言葉環境が大きく影響を与えるそうです。美しい言葉の会話や、絵本の読み聞かせは大変有効です。「三つ子の魂百まで」と言うように、3歳までの環境は、生涯にわたり、影響を与え続けるとも言われています。熱心に聞き入り、質問を沢山してくださる親御さんのお姿が印象的でした。

大人が子どもの成長を学ぶ機会の大切さを改めて感じました。なかなか機会がない現状ではないでしょうか。子どもの読書推進も、「本を読みなさい」と言う以前に、「心の安定を含めた、子どもの育ちを理解する」ということが大切なのではないかと感じています。



◎押し本リスト

7月の図書委員会サミットで図書委員さんが紹介してくれた「押し本」をリストにして、所蔵があるものは展示、貸出しています。11月22日（日）までの予定です。ぜひご覧ください。